

# 海の人材育成に関する国際シンポジウム

2016年7月19日～20日 | 日本・東京

## セッション3：政策決定へとつなげるための科学

Photo credit: Nick Hall

### オイスター・ゴールズ・プロジェクト

#### アメリカ沿岸部のコミュニティ

##### 1) 当プロジェクトの主眼点

カキ礁は地球上の海洋生息環境の中でも地球規模で最も危機にさらされており、世界全体で、その85%が失われたと推定される。これを復元することが、とりわけアメリカ国内において、沿岸部のコミュニティの重要な目標として浮上してきている。そうしたコミュニティでは、魚類の繁殖、海岸線の保護、水質の改善など、カキ礁が生態系にもたらす広範な恩恵を取り戻すことがとても重視されている。アメリカ海洋大気庁（NOAA）の地域密着型復元プログラムとザ・ネイチャー・コンサーバンシー（TNC）は、こうしたプロジェクトの有意義な目標を達成する手段として生態系サービスを使い、復元プロジェクトを進める能力をコミュニティと現地のマネージャーに身に付けさせる一助として、米国で全国パートナーシップを創設した。

##### 2) 参加組織およびその他のパートナー

NOAA の地域密着型復元プログラムと TNC によるこの全国パートナーシップは、アメリカ各地の沿岸部のコミュニティで実地に行われる海洋生育環境復元プロジェクトを共同で支援するため、2001年に創設された。2001年から2015年までの間に、民間・非連邦（TNC およびパートナー）の資金と併せて連邦（NOAA）の資金を活用し、85件を超えるカキ礁復元プロジェクトへの支援が行われた。

何十ものパートナーがこうした実践の輪に参加しており、これには地元および地域の保全活動組織、資源管理機関（通常は州だが、地元の資源区域の場合もある）、学術研究機関、ならびにエンジニアリング会社や海岸作業請負会社など民間部門のパートナーが含まれている。

##### 3) 能力開発において効果が証明された活動やツール

カキ礁復元プロジェクトは生息地の喪失と、さらに具体的に言えば、復元を通じて取り戻せるメリットについて、認識を高める手段となっている。意識の向上と能力開発を図るため、刊行物、オンラインセミナー、実地研修など幅広い方法が用いられている。こうした能力開発活動の主な参加者は、地元や州のレベルの地域組織、カキ漁の取締官、

生息地管理者である。こうした業務の一環として行われるコミュニティ教育は、学童から、レクリエーション目的の釣り人や本職の漁業者など生態系サービスの受益者——娯楽や生計をきれいな入江や河口域に頼っている人々——に至るまで、コミュニティのさまざまな部分に及んでいる。

生態系サービスに関するカキ礁の管理目標を設定するための新たな管理者用ガイドの一環として、オンライン計算機が新たに作成された。今後は、こうした資源を直接的な働きかけや、地域組織ならびに政府当局者や資源管理者の訓練に使用する予定である。

#### 4) 特に、継続的に能力開発に取り組むことおよび／または同様のプロジェクトを他の地域で展開することに関連して経験した困難な課題

最近まで、カキ礁がもたらす恩恵を説明するのに必要な科学は未熟か、まったく存在していなかった。TNC とオイスター・ゴールズ・プロジェクトがこの欠落に対処してきたが、追加の研究や発展が必要な領域が残っている（汚染低減のメリットなど）。

第2の厄介な要因は、カキ礁が非常に多くの恩恵をもたらしている点と、生息環境が劣化すればそうした恩恵も減るという点について、認識が不足していることである。漁業者と一部の管理者の間には、カキの収穫がカキ礁から得られる唯一の（または最も重要な）恩恵であるという考え方が根強く残っている。

#### 5) このプロジェクトの次の段階

TNC、NOAA、ならびに多くのパートナーが、空前の規模でアメリカ全土にカキ礁の復元を拡大し続けている。RESTORE 法からの資金により、今後、メキシコ湾周辺部で重要な復元活動の支援が行われると見込まれるが、その他の沿岸地域、特にチェサピーク湾、ピュージェット湾、ハドソン・ラリタン湾などについても、野心的な復元目標が設けられている。復元から得られる生態学のおよび社会経済的なメリットを推定する新たなツールは、社会的および生態学的に有意義な規模でメリットを取り戻せる場所においてプロジェクトを設計していく上で有用である。また、TNC とパートナーはアメリカ国内で学んだ教訓を生かし、オーストラリアや中国やイギリスなどの諸外国で応用を進めている。このことは、こうした地球規模で危機にさらされている生息環境の回復をめぐり、真にグローバルな動きが盛んになりつつあることの証拠である。

オンライン用ツールキットと資源ライブラリーが、以下のマッピング・オーシャン・ウェルスのウェブサイトで見ることができる。

<http://oceanwealth.org>

復元プロジェクトのデータベースが、以下のサイトで利用できる。

<http://projects.tnc.org/coastal/#>

**NATURAL INFRASTRUCTURE + RESTORATION PROJECTS**

The Nature Conservancy  
Protecting nature. Preserving life.

**Summary**

For the 85/199 projects shown on the map:

<b>761</b> Acres Restored (69)	<b>19,900</b> Volunteers (51)
<b>5</b> Miles Restored (5)	<b>54,817</b> Volunteer Hours (60)

\*Number of reporting projects shown in parentheses

**100-1000: Restore Coastal Alabama - Alabama Port Project** AL  
Implementation / Modification / Enhancement / Restoration  
[View Project Details](#) [Highlight on Map](#)  
Mobile Bay

**100-1000: Restore Coastal Alabama - Coffee Island Project** AL  
Implementation / Modification / Enhancement / Restoration  
[View Project Details](#) [Highlight on Map](#)  
Mississippi Sound

**General**  
Implementation / Modification  
Project status

**Ecology**  
Oyster Reef / Shell Bottom  
Species

**Collaboration**  
Risk reduction demo site  
Partner(s)

【図】

Natural Infrastructure + Restoration Projects

Summary

Restore Coastal Alabama-Alabama Port Project  
プロジェクト

Restore Coastal Alabama-Coffee Island Project  
プロジェクト

General

Ecology

Collaboration

自然インフラ+回復プロジェクト

まとめ

アラバマ沿岸部回復ーアラバマ港プロジ

アラバマ沿岸部回復ーコーヒー島プロジ

全般

生態学

協力